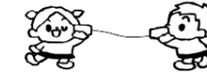


令和6年度アプローチカリキュラム

竹原市立吉名こども園

吉名こども園の教育・保育目標

- ①伸び伸びと遊び、失敗を恐れず主体的に活動する子ども
- ②様々な人との関わりを重ねる中で、思いやる心や協調性を育み、自分も友達も大切にできる子ども
- ③豊かな自然との出会いの中で、体験を通して学び、心も体も健康な子ども



期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
子どもの姿	<p>ゆり組になったよ！やる気満々よ！</p> <p>進級当初の園児の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年長組になり、うれしくてはりきったり、年下児のお世話を喜んだりする。 ●自分の好きな遊びややりたいことを伸び伸びと楽しむ。 ●小学校へのイメージが湧かなかったり、不安を感じたりする園児もいれば、兄弟を見て期待を持つ園児もあり、個人差が大きい。 	<p>園では、自分でできることは自分でやっているよ。</p> <p>友達と遊ぶのが楽しい！でもケンカも多いの…。</p> <p>小学校ってどんなところかよくわからないな。ちょっと不安。</p>	<p>安心</p> <p>小学校のサツマイモ掘りのとき、お兄ちゃんお姉ちゃんが優しく教えてくれた。遠足で行った学園。広くて迷子になりそうだったけれど、思いっきり遊べて楽しい！</p>	<p>成長</p> <p>身回りのことは自分でやるよ！当番活動も自分の役割をきちんと果たすから見ていてね。→自分で考えて、見通しと自信をもって活動できるよ！</p> <p>運動会や発表会、友達と一緒に何かをやって、楽しいし、おもしろかった。→ともにやり遂げた達成感！友達の思っていることを聞いたり、自分の考えを言ったりするのもおもしろいね。→協働的な遊びに発展！</p>	<p>自立</p> <p>もうすぐ1年生。友だち100人できるかな♪</p> <p>期待する園児の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●色々なことに興味や好奇心をもって、チャレンジする。 ●失敗したときに、先生や友達を頼ることで人を信じる心が育つ。 ●友達も自分も大切に、自分に自信をもち生活できる。 							
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の中でまじりの大切さに気づき、守ろうとする。 ・遊具や用具の安全な使い方を知り、約束を守って遊ぶ。 ・身近な自然や動植物に関心をもち、主体的に関わり、遊びに取り入れたり、飼育や栽培等の世話をしたりして、親しみをもつ。 ・身近な材料や用具を使って、いろいろなものを工夫して作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培物の生長に関心をもち、収穫を楽しんだり、食べる喜びを味わったりする。 ・生活の中で文字や数、色や形に関心をもち、 ・友達と考えを出し合いながら遊びを進める楽しさを味わう。 ・友達とイメージを共有し、目的に向かって活動することを楽しむ。 ・友達と意見を出し合いながら、ルールのある遊びを進めていく楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然との関わりの中で驚きや発見を友達と共有し、確かめたり試したりする。 ・友達とイメージを広げながら、表現することを楽しむ。 ・文字や数に親しみ、遊びの中で友達と使うことを楽しむ。 ・友達と思いを伝え合い、協力しながら遊びを進めていく喜びを味わう。 ・友達と同じ目的に向かって活動することを楽しみ、達成感を共有する。 ・グループや係の中で自分の役割を見つけたり、友達を認め合ったりする。 ・自分の気付いたことや得意なことを活かし、積極的に役割を担って、遊びや生活を楽しむ。 									
ねらいに つながる遊び・活動・行事・内容 (下線部は学園と交流するもの) →→→は年間を通してする活動	<p>アサガオ土作り・種蒔き 玉ねぎの収穫・乾燥 サツマイモや夏野菜の苗植え 草抜き</p> <p>水やり・観察 ふれあい農園 学園運動会</p> <p>虫さがし・虫のおうち作り・飼育 交通安全指導</p> <p>3色ボード クッキング→→→ 英語で遊ぼう→→→</p> <p>遊難訓練→→→ サッカー教室→→→ 早寝早起き朝ご飯がんばり表</p> <p>朝の会・当番活動・台拭き→→→ 集団ゲーム→→→</p> <p>砂遊び・リレー・運動会ごっこ</p> <p>メダカさがし・豆苗づくり</p> <p>貸出絵本・わかたけ号→→→ 歓迎会</p>	<p>異年齢児保育→→→</p> <p>はみがきががんばり表</p> <p>廃材遊び・味噌づくり・劇遊び</p> <p>自然物遊び どうぶつとふれあおう(学園)</p> <p>運動会</p> <p>発表会</p> <p>おたのしみ会・クリスマスコンサート</p>	<p>チューリップの球根植え・寄せ植え</p> <p>就学時健診</p> <p>交通安全指導・遠足・園外保育</p> <p>学園体験会・説明会</p> <p>おもちゃランド(学園)</p> <p>氷遊び・氷づくり・お店屋さんごっこ</p> <p>七草がゆ・コマ回し・凧あげ・羽子板遊び</p> <p>マフラー作り</p> <p>お店屋さんごっこ</p> <p>自分たちで配膳</p> <p>相撲大会・節分・ひなまつり・お別れ運動会・お別れ会・卒園証書授与式</p>									
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを話したり、友達の思いを聞いたりできるよう、朝の会や帰りの会など振り返りの時間を設ける。 ・自分でできた！という満足感が得られるように、自分自身で選んだり、決めたりできる環境を作る。 ・散歩や遠足などの園外活動を通して、地域の人と挨拶を交わし、様々な人との関わりをもち、安心して過ごすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりが深まったり、協働的な遊びに発展したりするように、保育教諭が一緒に遊ぶ。 ・行事などの取り組みを通して、友達と一緒に何かをやり遂げる達成感を味わうことができるようにする。 ・菜園・食育活動を通して、野菜の生長、クッキング、栄養、命の大切さを体験できる場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便ごっこややすごころく、お店屋さんごっこなど、文字や数に興味関心がもてるような遊びを用意しておく。 ・友達によさや、一緒に乗り越えられたことなど、友達と活動する喜びや心地よさなどが感じられるよう、活動を振り返る場を設定する。 ・ルールがあるからこそ楽しめることを確認したり、気づきを促したりする。 									
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子を聞いたり、年長児として自信をもって生活し、行動する姿を伝えたりして、ともに成長を喜び合う。 ・支援の必要な子どもについては、保護者・関係機関・こども園が相互に連携を取ったり、就学前相談会の活用を図ったりする。 ・家庭訪問や懇談を通して、子どもの気になっているところや園への要望、就学についての相談等、保護者の思いを聞き、連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びや行事など継続した活動の中で、子どもたちに何を体験させたいのか、どのような育ちを願っているのかを伝え合い、子どもの変化や成長を喜び合う。 ○子ども自身に伝達する力が身に付くよう、家庭と協力しながら日常の言葉でのやり取りを大切にしている。 ○学園との交流の様子をドキュメンテーションを用いて伝えていき、安心感へと繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けて、生活リズムを整えていくことの大切さを伝え、起床、排便、就寝、食事などの時間を見直し、規則正しい生活が送れるように理解を求める。 ・就学に向け、子どもの期待感や不安感を受け止め、安心して就学できるように子どもへの関わり方をともに考えていく。 ・懇談を行い、園・家庭・学園の連携を図り、情報を共有する機会を設ける。 									
学園との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児担任が学園に見学に行き、学校生活の流れを知り、児童観や指導観についての理解を深める。 ・散歩や遊難訓練等で学園を園児とともに訪れ、学園を身近な存在として感じられるようになる。 ・互いの参観日に参観することで、共通認識を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の教諭がこども園1日体験を通して、園児の1日の生活や学び等を知り、保育観・子ども観など共通認識を持つ。 ・学園に1日体験に行き、児童の姿や学び等を見たり、児童観・指導観などを学び、共通認識をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要録をもとに連携の場を持ち、園児一人一人の姿を伝え、情報交換をすることで園児が安心して学校生活で自己発揮できるようにする。 ・次年度のアプローチカリキュラムの作成にあたり、学園と相互に意見を交換し、反映させる。より充実し、実態に即した内容となるようにする。 									

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育ってほしい児童の姿	<p>入学当初の児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園所では1日の時間の流れの見通しをもって生活していた。 ○自分の思いを言葉で表現しようとしている。 ○同じ園所の友達と、話し合い協力し合いながら活動している。 ○生活集団、環境の広がりや変化に期待や不安を抱いている。 <p>期待する児童の姿</p> <p>主体的に自己を発揮しながら学びに向かう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いや願いの実現に向け、自ら考え実行している。 ○課題に対し粘り強く取り組んでいる。 ○自分の考えを伝えたり相手の考えを聞いたりしながら、協働的に活動している。 											
主な学習活動	<p>がっこうだいすきあいうえお (37H)</p> <ul style="list-style-type: none"> じぶんでできるよあいうえお(4.5H) みんなとなかよしあいうえお(13.5H) いくぞ! がっこうたんけんたい(19H) <p>こども園と小学校の架け橋 (52H)</p> <ul style="list-style-type: none"> あきとなかよし! こども園のみんなとなかよし!(27H) もうすぐ2年生! ようこそ年長さん(25H) 											
環境構成(人・もの・こと等)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に活動を楽しみ、肯定的な声掛けや必要に応じた個別の支援により信頼関係を築く。(人) ・児童と笑顔で接し、児童の目線で話を聞く。(人) ・児童の関わりが増えるような遊びや学習を多く取り入れ、関係を形成していく。(人) ・登下校指導や地域ボランティア、保護者との連携により、安心して登下校できるようにする。(人) ・朝の支度、大休憩、給食、掃除等、必要に応じて6年生に見守ってもらえるよう、担任間で連携を図る。(人) ・整理整頓、順番、時間など、言葉や絵、時計やタイマーを用いた視覚支援を個に応じて行うことで、流れや手順が見通せるようにし、安心して学校生活が送れるようにする。(もの) ・園所で親しんだ遊びができるように、教室内に遊びコーナーをつくる。また、教室の近くで外遊びができるように遊び場を整備する。(もの) ・なかよしタイムを行い、安心して過ごす基盤をつくる。(こと) ・カリキュラムマネジメントを積極的に行い、一単位時間を柔軟に扱う。また、生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。(こと) ・児童の興味・関心、園所や他教科での学びや経験を生かした授業づくりや、学んだことが他教科や生活場面、次の学習に生かされるような工夫をする。(もの・こと) 											
との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児と保護者、こども園の職員に運動会に参加・見学をしてもらう。 ・各所属長等が互いの入学式、入園式に参加をする。 ・公開研究会にこども園の職員を招待する。 ・生活科の公園遊びの時に、こども園と連携し、一緒に遊ぶ。 											
組織との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に登下校の見守りを願う。 ・なかよしタイムにうりぼうの会による読み語りを取り入れる。 ・幼保小連絡協議会に向けての準備をする。 											
の家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式、学級懇談会で、学校の教育活動やきまり等を伝え、共通理解を図る。 ・学級通信や懇談等で、児童の学習や生活の様子を伝え、保護者が安心感をもつことができるようにする。 ・スタートカリキュラム通信を発行し、本年度の取組を紹介する。 											
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・教材提示装置や電子黒板、タブレットなどICT機器を活用する。 											